

II 高校生の解放と自律

- ・ 一個人のどうでもいい授業に出席強制で座らされる時代はもう終わらせよう（江戸時代まで、学校はなくとも有能な人材は大量に輩出された・・・現代の学校は、国民の多少の底上げ・均一化はできても有能な人材の量産はできない）
- ・ ネット時代、授業は出席自由だ（ネット内の無料授業でひたすら自勉・個勉・孤勉で先に進み、演習ゼミで、論理的思考力・解答力・発言力を磨く時代だ）
- ・ 高校の学習は3ヶ月から半年程度で終わらせ、残りの2年半を有意義に使おう
- ・ 若き大切な高校3年間を無駄にするな！
- ・ 自律だ！自分の人生は自分で考え切り拓く、そして、世界・国家・地域に貢献する
- ・ 自己の将来・人生にとって必須の事柄に当たり、その技能を身に付けよう
- ・ 社会研修・職業現場研修・地方研修・離島研修等で、さらなる人間力を磨く
- ・ 世界・国家・地域に貢献できる有能な社会人になろう
- ・ そうして、日本列島民の人材力を見せつけるべし

1、解放

明治維新以来およそ 150 年、様々な無意味無効果な陋習制度が温存されています。疾うに制度疲労で、活気溢れるはずの若年層の覇気は減退し、人材が育たなくなつて、国の勢いもなかなか上向かなくなっているのではないのでしょうか（時代遅れの制度に全員を絡めていては、有能な人材は輩出されないでしょう）

平安末期や戦国期や幕末期などは、統制側の力が落ち、自由闊達な気風に溢れて、人材が泉のごとく自噴していたのでしょう

政治権力が強力で安定しているということは、制度が強固で、自由が利かず、人材が育ちにくいという状況だということでしょう

人材の育成は、当然、教育（制度）の中にもあります

ネットで情報が疾駆する変化の速い時代に、150年も前の近代帝国主義国家を造り上げるための人材を発掘・育成するようにつくられて、しかもその時代の限られた情報や考案等や価値観の下でつくられた教育制度が現在もほとんど維持されているのは異常事態でしょう

例えば、選択できない教員個人の授業に出席を強制され、税金浪費のあげく、その

個人に公的記録として残るような評価を受けるというのは、時代錯誤もはなはだし
いというものでしょう（限界に達した人が未来ある人材候補を税金で公的に評価す
るというのは正気の沙汰ではないでしょう）

まさに、こういうものは、教えられる人がほとんどいなく、参考書もなく、まして
やネット上の無料の授業などが考えられもしない明治維新の遺物そのものでしょ
う

教えられる人は掃いて捨てるほどいて、参考書も無数にあり、ネット上に無料の授
業すらある現代は、授業を受けるも受けないも、誰の授業を受けるかも生徒個人の
全くの自由であって、教育の一手段に過ぎない授業を目的化して、随意には選べも
しない一個人の授業への出席強制で単位が決まるうえ、ご丁寧にも評価までされて
しまうなんていうのは異常な拘束であり、本末転倒というべきものでしょう

国家による一方的一義的な人材発掘育成制度ではなく、才能個性を余すところなく
自由に発揮している個人をたくさん輩出させ、有機的に機能させることこそ国家の
仕事であり、強い国をつくれるのではないのでしょうか

国家が中央集権的に教育制度を一律に押し付けてくるようでは、もう人は育たない
のではないのでしょうか・・・他律ではなく自律であるべきであり、さらには、多様
性を認める「多律」「個律」の時代でしょう

そもそも、**教育の目的は、①個人としての至高至福な自己実現の機会を与え人材候
補として自由に成長する環境をつくりつつ、②国際貢献・国家貢献・地域貢献（「三
（社会）貢献」と命名しておきます）のできる人材を育成（醸成）・統括し、より
よい国造りをする**ことにあるのではないのでしょうか

さて、その手段は如何にという論点でもめたり、国が深入りする必要はもうない時
代でしょう

みんな、自由にやればよいでしょう（介入せず放置するというのも重要な環境整備
でしょう）（上述の①②が達成されていれば十分でしょう）

もうそろそろ高校生を解放し、自律・個律・多律させる時勢だと考えます
早急に人材（育成）国家を目指さないと、アジア諸国や南米諸国に追い越されて、
果ては領土も護れなくなる国に陥るかもしれないのではないのでしょうか

日本は、世界最大の人材資源国になり得る潜在能力を持っていることを再認識して、
まずは、高校生を解放し自律させ、基礎学力充実国家、語学力充実国家を目指しま
しょうよ